

一般社団法人

おもやい

2022年度 事業報告



一般社団法人

おもやい



# はじめに

これまで多くの方々に支えていただき、令和元年から活動が4年目となりました。2022年度は新たに拠点を整備し、各種事業を実施できる体制となり飛躍の年となりました。これもひとえに多くの方々にご支援いただいた賜物でございます。この新拠点を『地域共生センターそよぎ』と名づけました。この名に込めた思いはさまざまな風雨のような困難もしなやかに受け止め、かわしながらこの地にしっかりと根ざして活動を進めていく、私たちおもやいの決意でもあります。この新拠点の設置に奔走する2022年度は、一方でこれまで続けてきた活動も引き続き実施をしてきました。毎年春を迎え、夏が近づくにつれて「今年の雨はどうだろうか」という声が異口同音に住民の方々から聞こえて参ります。災害が起きた時を想定した備えや、地域での防災の取り組みも大切であると同時に、今年度を通じてそのお一人おひとりが孤立せずに安心して暮らせる、そのことをどう確保できるのかがとても重要であることを改めて実感する年となりました。

今後も地域内での連携、さらには自治体単位における連携・協働、県域、九州圏域でのネットワークを構築していくことで、平時・災害時どちらにも対応できる体制を目指して、引き続きみなさまと「おもやい（共有）」をさせていただければ幸いです。

一般社団法人おもやい 代表理事 鈴木 隆太

## 1 ボランティア活動

### 【県内】

主にフードリンク事業での相談業務を通じて、サポートが必要な世帯へ簡易的なリフォームや修繕などを実施しました。また訪問活動においての相談から実施する活動もありました。活動内容は主に、家屋の修繕や家財道具の移動など生活環境の改善に寄与するものが多くありました。



嬉野市においては2021年の水害後からつながりのできた大舟地区へ定期的なサロンを嬉野市の保健師や社協と連携しながら実施しました。（10月にて終了）

味の素冷凍食品株式会社様からは継続して冷凍食品の提供をいただきました。こうした食品を活用させていただきながら関係機関や必要とされる方々への配布を継続して実施しました。

武雄市各町の地域包括ケアシステム拠点も開設が進み、提供していただいた冷凍食品も活用させていただきながら活動のサポートをしています。



### 【県外】

今年度は宮崎県延岡市を中心に豪雨による災害が発生したため、宮崎文化本舗、YNFと協働して被災家屋のサポートを実施しました。

主には被災した世帯への家屋の清掃活動、また訪問活動をYNFを中心に活動しました。

今後もYNFを中心に宮崎文化本舗と共に宮崎のサポートを実施する予定です。



## 2

## 訪問活動

(新型コロナウイルス感染対策活動・生活困窮の方々へのサポート含む)

継続しての訪問活動を西九州大学オカベース、(一社)みんなの居場所はちほちと共に実施しました。特に気になる方へは必要に応じて関係機関へとお繋ぎするなどの対応を行ないました。また、県外からの



団体(兵庫県立大学、レスキューストックヤードなど)による不定期の訪問により日常にお会いすることで気づかないところをカバーしてもらうなど、県外からの応援の必要性も改めて確認することができました。

味の素冷凍食品株式会社様より冷凍食品の提供を継続的にいただいていることも、訪問活動継続の大きな後押しになっています。

## 棚づくり事業

訪問と関連しながら、建築ボランティアネットと協働で水害対策の一環として生活環境内に新たに棚を設置する事業を実験的に実施しました。

今年度設置世帯数は13件、それぞれの生活様式に合わせながら必要な場所に棚づくりを行いました。



## 3 イベント事業

今年度も旧北方幼稚園などを活用してもらい、イベントなどを実施しました。その後は新たに新拠点を整備したため、10月から毎月1回のイベントを実施しました。7月から始めた『いやしの日』には水害時に癒しに来てくださったセラピストさんに再集結していただき、被災した心と身体を癒すイベントとして開催しました。



### 【イベント開催】

6月 おもやいフェス 100名

7月 いやしの日 4名

8月 いやしの日 8名

9月 いやしの日 8名

10月 いやしの日 12名

『地域共生センターそよぎ』オープニングイベント50名

11月 『地域共生センターそよぎ』お披露目会25名  
いやしの日12名

12月 いやしの日12名、クリスマス会70名



### 【出店】

3月 さが\*ひな市

5月 武雄市防災フェスタ

7月 鹿島市JCフォーラム

9月 LUSH筑紫野店で活動紹介  
武雄市物産まつり

10月 認知症共生フェスタ

11月 大町町サンマ祭り



## 4 会員制「おもやい防災あんしんセット」の実施

2020年度から実施している防災あんしんセット事業は、助成金などを活用して昨年度の250世帯から446世帯へと会員世帯が増加しました。地区も武雄市・大町町に加えて、2021年の豪雨で被災した嬉野市の防災重点地区である自治会も会員として加盟しました。



武雄市	北方町	75世帯
	朝日町	114世帯
	橘町	66世帯
大町町		161世帯
嬉野市		21世帯
その他		15世帯



また、2月には実際に令和3年に被災した会員さんに集まっていただき座談会を開催しました。現状の内容で足りたのか、改善点がないかなどを教えていただき非常用トイレの数が足りないという声も出たので、今年度は令和3年豪雨の際に非常用トイレを使った方に量を増やしてお渡しすることにしました。

すでに加盟されている会員世帯へは、更新確認をした上で各自治公民館にて更新会を行い、改めてあんしんセットの使い方の説明やあんしんセットに入っていないその他の防災グッズの紹介を行うなど、水害への啓発活動を合わせて実施しました。

### 【あんしんセット更新会等】

2月 防災あんしんセット座談会 8名

2～6月 防災あんしんセット更新会&防災グッズ紹介 4地区で開催



## 5 地域共生センター『そよぎ』を整備しました

休眠預金等活用法に定められた指定活用団体である【一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)】により資金分配団体として指定されました【一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム (事務局：佐賀未来創造基金)】を通じて休眠預金等活用事業を活用し、空き店舗を利用して新拠点「そよぎ」を整備させていただきました。

私たち一般社団法人おもやいは令和元年、令和3年と立て続けに豪雨による被災を経験した武雄市・大町町において、被災された方々の生活再建のお手伝い、また、日常的に生活にご苦労をされている方々からのご相談対応などを行なっています。

いつ起こるか分からない災害に対する『安心』を地域で確保すると同時に、日常的な生活においても同様に『安心』を確保するための各種事業が必要と考え、活動を展開してまいりました。

その中で水害に強い拠点の整備を行い、日常的には様々な交流拠点として、また災害時には連携団体との活動拠点となるようにこの地域共生センターそよぎの周知に努め、活用していきます。



3



## 6 武雄市・大町町との連携会議への参画

### 【武雄市】

これまで武雄市との共有会議を継続して行なってきましたが、新たに今年度からSPFが加わり、改めて今後の災害時における連携について模索するため会議を継続してきました。

令和元年、令和3年と2度の経験から今後の改善点を明らかにしながら、どのように武雄市とCSOが連携を行なっていくのか、＜避難所運営＞＜物資の調整＞＜炊き出しの受入・調整＞という3つの観点から具体的な方策について検討しています。

現在確定されているルールとしては、災害が発生するかもしれないという状態になった時にまず準備室等が市役所内に開設されます。その段階からSPFと武雄市市民協働課が連絡を取り合い、次の段階へと備える、というところまでが確認されました。

今後、より具体的な連携・役割分担をしていくことでよりスムーズな被災者への支援体制を構築することを目指します。

### ■実施回数

2月～11月 武雄市連携会議 4回

6月10日 武雄市・武雄市社協との災害ボラセンに関する会議

9月4日 佐賀県・武雄市防災訓練

### ■武雄市立地適正化計画策定委員

令和3年11月から5回の委員会に参加



### 【大町町】

大町町では継続して連携会議を実施されていますが、今年度はそれほど積極的に参加することができませんでした。一方で大町町地域おこし協力隊との密な連携を各種事業を通じて行うことができたため、この体制を維持しつつ次年度以降についてはより積極的に、協定を結んでいる大町町への協力を図っていきます。

### ■参加回数

2～8月 大町町連携会議 5回

### □その他

講演、講座、視察受入等 31回



## 7 大町町における多世代交流拠点整備・運営事業サポート

元々大町の地域おこし協力隊が行う事業へのサポートを計画していましたが、おもやいの事業の兼ね合いなどもあり、大町でのサポートは実質できませんでした。次年度は大町の活動に連携をしていきます。

## 8 相談窓口の設置

今年度、休眠預金を活用して新たな相談窓口を設置しました。またそれによって各種相談を電話で受けられる状態になったため、更なる相談の増加へとつながりました。

フードリンク事業と関連しますが、こうした各種相談についてもやはり当団体単独で対応することが難しいケースが多く、今後もさまざまな団体との平時からの関係づくりが重要であると再認識しました。





# 『おもやいフードリンク』事業の実施

昨年度に引き続いてよりみちステーションと協働で月1回の配布会を実施しました。

LINEの登録世帯数 74世帯 279名  
(大人108名、子ども171名)

内やり取りがある世帯 65世帯 247名  
(大人97名、子ども150名)

## 【配布会実績】

1回	1月21～23日	定例配布	45世帯	168名(大人70名、子ども98名)
2回	2月25、27日	定例配布	47世帯	181名(大人76名、子ども105名)
3回	3月随時	食品配布	10世帯	44名(大人12名、子ども32名)
4回	3月27、30日、4月1、4日	お弁当配布	47世帯	180名(大人69名、子ども111名)
5回	4月26、27日	定例配布	42世帯	177名(大人69名、子ども108名)
6回	5月24、25日	定例配布	49世帯	195名(大人80名、子ども115名)
7回	6月28、29日	定例配布	48世帯	200名(大人76名、子ども124名)
8回	7月18、19日	定例配布	49世帯	192名(大人76名、子ども116名)
9回	8月2、3日	定例配布	51世帯	209名(大人82名、子ども127名)
10回	8月23、24日	定例配布	47世帯	181名(大人70名、子ども111名)
11回	9月13、14日	定例配布	54世帯	209名(大人84名、子ども125名)
12回	10月18、19日	定例配布	55世帯	206人(大人81名、子ども125名)
13回	11月15、16日	定例配布	55世帯	202人(大人81名、子ども121名)
14回	12月8、9日	定例配布	61世帯	218人(大人88名、子ども130名)
15回	12月19、20日	定例配布	62世帯	228人(大人89名、子ども139名)



## 【配布回数】

- ・定例配布 13回  
(12月のクリスマスケーキ作りセット配布を含む)
- ・お弁当配布 1回
- ・フードバンクさが 6回
- ・サンフレッシュ 1回
- ・受験生向け問題集配布 1回
- ・衣類配布 1回
- ・武雄ベーカリーさんより 多数のご協力
- ・野菜配布 地域の方から多数のご協力
- ・Civic Forceさんからの物資の提供のご協力



特に、武雄市においては武雄市こどもの貧困対策課・こどもの笑顔コーディネーターという学校の先生のOB・OGの方々が各学校に配属されており、その方々との連携により利用世帯数の増加しました。また、調達している食材についてはフードバンクさがをはじめとする関係団体との連携により定期的、突発的な配布に対応しながらフードリンクご利用世帯へはLINEによるお知らせなどが一定程度定着しており、急な食材配布にも対応することが可能となっています。

一方で、利用されている方々の今後のサポートというところまではまだまだ至っておらず、その都度側面的なサポートを実施しているが、この事業が今後さらに拡大していくことも想像できるため、そうした対応を各種関係団体と連携を意識的に行いながら実施していくことが求められています。

## 地域食堂

地域共生センターそよぎが開設されたことで、定期的に地域食堂<そよぎdeごはん>を(一社)みんなの居場所はち、また地域のボランティアの方々と共に実施しました。

今年度は2回の実施でしたが、今後も継続して地域の方々を巻き込みながら実施していきます。

11月23日 来場者51人(子ども24人、大人18人、ボランティア9人)

12月11日 来場者26人(子ども11人、大人9人、ボランティア6人)



## 10 防災に関する勉強会・講習会の実施

今年度も武雄市における出前講座に登録し、これまでの連携の実績から地域からの要望に対応することができました。地域とのつながりのきっかけともなる事業であるため、この事業も重点事業として位置づけ次年度以降も取り組んでいきます。

一方で今後提供できるメニューを増やしていくことも検討しながら随時実施していきます。

- 5月 北方町掛橋区老人会防災教室 20名  
北方町防災料理教室 7名
- 6月 朝日町公民館防災講座 30名  
武雄市子育て支援センター支援員さん向け防災教室 25名  
伊万里市癒の屋リアン防災教室 20名  
北方町サロン代表者会防災教室 25名  
橋町区長会・消防団勉強会 50名
- 7月 JA橋宮農部防災教室 16名  
白石町法泉寺防災教室 22名  
久津具地区防災教室 10名
- 8月 御船小学校児童クラブ防災教室 45名  
橋小学校児童クラブ防災教室 35名  
久津具地区防災教室 6名  
嬉野市不動山地区防災サロン 8名  
久津具地区防災教室 8名
- 9月 武雄市防災減災課と共同で武雄町小楠区の防災教室  
武雄市総合防災訓練参加 60名  
コープさが防災教室 20名  
久津具地区防災教室 8名  
大牟田の方へ防災教室3名
- 10月 江北町みんなの公園防災フェス防災講座 10名
- 11月 橋町防災講演会で防災グッズ紹介 100名



## 11 おもやい防災ブックを作成

令和元年・令和3年の災害で学んだことを今後に活かすために休眠預金を活用して防災ブックを作成しました。実際に被災された方やボランティアとして活動された地元の方の体験談を紹介することによって『本を読む』というよりも『人の話を聴く』感覚で読めるよう工夫しています。

また、【普段できる対策】～【災害が起きそうな時】～【災害が起こってから】を一連で説明することによって、1冊読み進めると水害のことがおおよそ想像できるような作りにしました。

佐賀県出身のデザイナー『ミカドヤ』のご夫妻に可愛いキャラクターを作ってください、イラストを多くして子供から大人まで読みやすい内容にしました。

今後は防災教室や防災イベントなどで教材として活用していきます。



↑防災ブックを案内してくれる  
ミーズ(左)とスイッチ(右)  
というキャラクター



## 収入

¥101,691,872

### 収入内訳

項目	金額
年会費	62,000
寄付金	5,043,812
助成金	93,159,142
委託費	3,117,990
受取利息	84
雑収入	308,844

## 支出

¥37,925,003

### 収入内訳

項目	金額
人件費	13,592,041
委託費	6,414,700
諸謝金	570,890
印刷製本費	424,782
旅費交通費	171,250
通信費	368,929
消耗品費	7,598,074
修繕費	1,237,990
水道光熱費	713,603
車両費	1,372,807
会場設営費	62,840
寄付金	50,000
管理費	5,347,097

## 収支差額

¥63,766,869

前年度繰越金 10,085,829

次期繰越  
正味財産額 73,852,698

### 次期繰越正味財産額内訳

現金預金	13,908,445
工具器具備品	944,253
土地	30,000,000
建物	29,000,000



## お家や職場で余っている 食材を集めています



家庭や職場などで食べきれない食材などを集め、お困りの方に届ける【フードリンク】という活動を続けています。事務所かゆめタウン武雄店2F駄菓子屋前おもやいブースで受け付けています。車がない場合や量が多い場合は受け取りに行くことも可能です。お電話でご相談ください。

### ご寄付いただきたい食品など

- ・ お米
- ・ 醤油、砂糖など調味料
- ・ うどん、パスタなどの乾麺
- ・ 缶詰、瓶詰めなどの保存食
- ・ ジュース、お茶、お菓子など
- ・ 野菜
- ・ 消しゴム、ノートなど文具
- ・ 洗剤
- ・ トイレットペーパー
- ・ 各種消耗品

### ご寄付の際にご確認いただきたい事項

- ・ 食品の場合、賞味期限が1ヶ月以上残っているもの
- ・ 未開封のもの
- ・ 常温で保存できるもの



おもやいの最新情報は  
下のQRコードから  
ご覧ください

ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter



一般社団法人おもやい  
佐賀県武雄市北方町大字志久1759  
(ダイレックス北方店西隣)  
TEL&FAX 0954-33-0444 (木曜定休)  
E-mail:omoyaivc@gmail.com

